

筆ノ登山

2014年9月7日
リーダー:藤井 一義



「筆の登山」の山行報告 リーダー 藤井 一義

今月の山行は天気が良いはずと思っていた、しかし今年は全く天気が読みにくい、1週間前からやきもきとし天気予報とにらめっこしてきた、雨の事も考えていろいろと頭をめぐらすが今一つよいコースが思いつかない、PCで情報調べ周辺観光を調べたり、市の観光課に問い合わせたりしてきた。当日次第としてあきらめ天候回復を祈るしかない。

朝おきると雨空は変わらない雨支度してせんげん台に歩くこと20分、5:35にはバスも来ていた、今日運転手はおなじみの館山さんである。ルート打ち合わせて、メンバー確認して出発、春日部組から3人キャンセルあり合計25人の参加となった。バスは31人席であるが、旧型で残念。(戸邊さんがDVD用意してきたが映せなかった。)一路東松山ICに向かう、雨は一向に良くならない、伊藤会長とも相談して、今日は、このまま雨なら観光に切り替えて、布引観音と海野宿コースか上田城周辺かとか話しながら、進むが、ますます雨が降っている、最初のトイレ休憩は上里SA、その後小諸ICに向かう、軽井沢のトンネルをいくつか過ぎ、なんとなく現地が晴れていればという気がしていた。トンネルを通過し終えて佐久平方面は明るくなっていたこれはひょっとすると、登山できるかもと気持ちがはやる、目的地の地蔵峠に差し掛かると雲が切れ始めた、間もなく池之平駐車場に到着した。9:30分頃空を見上げて一部青空が出ていて日光に感謝。さそっく準備体操して出発10:00、雨の心配しなくてすみそう、皆に声掛けして樹林帯に入り気分よく登山だ。しばらく行ったところで東筆の登山の姿が見えてカメラに収めた、次第に登ってゆくと、岩場の道が少しずつ急になってきて、50分程度で頂上に到着した。みんな記念写真におさまりながら考えたが、頂上はガスが出ていて360度の景色は見えず、登ってきた下のほうに駐車場とその反対側



←登山の前の準備体操を指揮する藤井リーダー

に池之平湿原の遊歩道が見えた、皆に話した。西筆の登山や水の塔山はガスが出ている、景色は変わらないし、湿原に行って昼にしましょうと提案になった。さて決まればすぐに下山だ、池之平方面は太陽が照っていてすごく明るい、皆軽快に下山してきた。早くいって昼食にしたいしとの思い40分弱で下山、駐車場館山さんに連絡して反対側のコ

ースをハイキングし2時までには戻れることを話した。湿原の木道も心地よい、花々の写真を撮りながら歩く、上から眺めた湿原の奥の休憩場所は明るく日差しがあり、樹のベンチで昼食となった。ガスがわいてきても湿原のところに来ると薄れて日が射している、頭上は青空で今日ほど天気になったのが不思議なくらいと自分でも思う。13:30にバスのところに戻ると館山さんに速かったですねと言われた、バスに乗って湯楽里館東部の日帰り温泉に行く14:15ここの露天風呂は眺めも良くて気持ち良い、日に浴びながら風呂につかる、天気が良くて不思議な気持ち、風呂から出て、休憩場所で恒例の生ビールでのどを潤し、15:30再びバスにのり帰路につく。帰りも東松山ICで降りてそれぞれ春日部、せんげん台に順調に到着した。せんげん台組は恒例の反省会食事をし、またビールを飲んで帰宅できました。現地で晴れればもう言うことなしです皆様本当に良かったですね。



↑山頂にて

9月山行「籠ノ登山」に参加して／戸邊茂雄



↑ 頂上に立つ戸邊さん

9月7日(日)、籠ノ登山(籠ノ塔山とも書く)の山行に参加しました。籠ノ登山は長野県東御市と群馬県嬬恋村の境にあり、浅間連峰(烏帽子火山群)に属する山で、東麓ノ登山(2,227m)と西麓ノ登山(2,212m)の双峰をいいます。

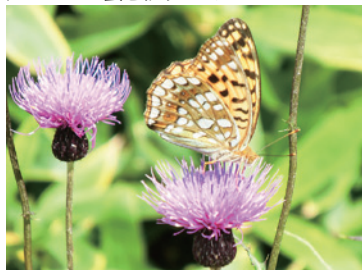
朝起きたら、夜中から降っていた雨がまだ降っておりまして。天気を心配しながら5:45にせんげん台を出発しました。6:00に春日部組が乗車して25名の参加者で雨の中を出発です。本日の運転手は館山さんです。しばらく一般道を走って7:15に東松山ICから高速に入りました。まだ雨が降っていてリーダーは登山をするか予定を変更して観光にするか決めかねておりました。しかし、徐々に雲が切れてきて雨が上がる気配がしてきましたのでバスは目的地に向かいました。8:50に小諸ICから高速を降りましたが、この頃には山はガスっておりまして雨が止みましてので登山をする方向に皆の気持ちが傾きました。そして9:25に池の平湿原駐車場に到着です。山の景色ははっきりしませんがとりあえず雨は降っておりません。足元がぬかるんでいるのでスパッツを付けることにしました。

リーダーの音頭で準備体操をして9:50登山口から出発です。樹林の中を進

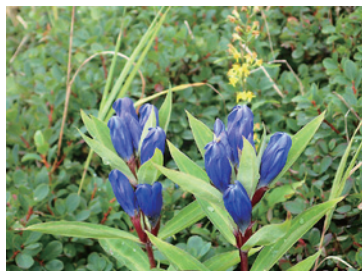
↓ 登山口にて



↓ ノアザミの蜜を吸うツマグロヒョウモン



↓ マツムシソウに群がるジャノメチョウ



↑ リンドウ



↓ 下田さんと中瀬さん



↓ 池の平湿原にて01



↓ 池の平湿原にて02

↓ 池の平湿原にて03



↑ ニホンミツバチ

↓ オチャメな村田さんと松島さん



↓ いつも元気な伊藤ユリ子さんと岡本八重子さん



蔵王山行についてのお知らせ

(装備・リーダーの指示・バスハイクの復活・小さいお金)

10月1日、蔵王山行の最終打合せを行ないましたのでお知らせいたします。

＊参加者は29名です(女性21人・男性8人)。部屋数は女性5部屋・男性2部屋。部屋割りはバスの中で決めます。

＊服装・装備について ― 晴れたら清々しい秋山です。一方、天気が崩れると冬山になります(唐松岳のように)。したがって最悪の事態を想定し装備を整えて下さい。

・手袋、帽子、スパッツ、雨具、防寒着などは必携です。もし天気がよければ荷はバスにおけますので邪魔にはなりません。

今回は火山の山に登るためにマスクを必ず持参してください。ヘルメットがある方はご用意ください。

◎天候、火山性微動などを考慮して、これまでと同様に登山しない場合もあります。

リーダーの松島さん、サブの市川さん、伊藤の判断に委ねてください。

●今年の紅葉は例年より1～2週間早いため、バスハイク組(沼めぐり)を復活することになりました。

コースは、旅館から山組者とバスに同乗して刈田岳駐車場まで一緒に行きます。

晴れていればお釜をチラッと見て、山組の下山場所である山形蔵王に行きます。ロープウェイに乗り換えてドッコ沼近辺を散策します。山組の下山時間に合わせてロープウェイで降りて来てバスで山組と合流します。あとは同じコースです(ロープウェイ代は会費にふくまれています)。

沼めぐりに参加しようと思われている方は、薄手のジャケット、手袋、ハイキングシューズでかまいません。マスクはお釜を見るときに携帯します。

沼ぐりのリーダーは伊藤です。

沼めぐりコースの希望者は1日目のバス車中で受け付けます。

・1日目は村田の町・白石の町めぐりになりますから、普段着できても構いません。バスは大型バスなので、荷はバスに置けます。

・会費は3万円です。そのうち千円を小さいお金(百円玉×10枚)で用意できる方はご協力をお願いいたします。

＊宿は国の有形文化財に指定された由緒ある建物です。風呂は伊達のお殿様やお姫様が湯浴みした歴史ある浴槽です。ごゆるりとお堪能してください。

新会員入会の一時中止について

遊友ハイキングクラブの会員数が48名になりました。先日も2名の方から入会の申し込みがありましたがお断りをしています。それは、昨年に会員が40数名を超えた時点で入会を中止したことにあります。会員数が50人にもなると、今の山行の運営方法や会員の安全面を考慮した場合に、大きな支障がきたすからと役員会の総意があったからです。そのことは、遊友ハイキングクラブが作られときからの考え方です。

その一方で、会則に記されていない「休会者の存在」など、あいまいなこともあります。これらのことについては役員会で検討して、今度の総会に諮りたいと考えています。

それまでは入会者を中止しますので、ご理解のうえご協力をお願いします。

2014年10月3日 遊友ハイキングクラブ会長 伊藤松雄